

平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果  
国立大学法人奈良教育大学

## 1 全体評価

奈良教育大学は、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命としている。第3期中期目標期間においては、能力の向上を目指し常に学び続ける教員を養成し、持続可能な社会の創造に寄与しうる教育を推進するとともに、知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究の成果に基づいた教育及び実践的活動を推進すること、また、地域の教育に対する支援を強化し、教員研修並びに地域の教育課題に対応することを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、教育委員会との連携・協働による現職教員研修に取り組むとともに、地域連携に関する機能強化を図るため、地域・教育連携室を新たに設置するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### （「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、平成29年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 教職への強い意欲を持った高校生を育成するため、奈良県教育委員会と連携した作業部会を立ち上げ、検討結果を踏まえて「高校生版教職プログラム」（次世代教員養成プログラム）を策定し、平成30年度から実施することを決定している。（ユニット「教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働による、教員養成・研究機能の強化」に関する取組）

## 2 項目別評価

### <評価結果の概況>

	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

#### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成29年度の実績のうち、下記の事項について課題がある。

#### 入学者選抜における出題ミス

学部の平成30年度一般入試において、社会科教育専修の小論文の設問に出題ミス等が発生したことにより追加合格の措置を実施していることから、チェック体制の見直し等、再発防止に向けた組織的な取組を引き続き実施することが望まれる。

#### (2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

#### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成29年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

### ○ カンボジア国への教育支援の取組による外部資金比率（受託研究）の上昇

カンボジア国の理科教育支援に継続的に取り組んでおり、カンボジア国教員養成大学設立のための基盤構築プロジェクトとして、「算数・数学教育」「理科教育」「ICT・メディア」等の専門家の配置、各科目の指導方法の研究、教員養成大学カリキュラム・シラバス教材の検討・作成・助言等の支援のための受託研究が増加しており、平成29年度における受託研究に係る外部資金比率が対前年度比0.2ポイント上昇している。

### （3）自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

**【評定】** 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由） 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

### （4）その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守

**【評定】** 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由） 年度計画の記載10事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

平成29年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

- 奈良県教育委員会との連携による県内小学校における若手（着任2、3年目）教員研修  
学校内でのOJT機能が低下している背景を踏まえ、奈良県教育委員会との連携・協働の下、県内小学校に採用された若手（着任2、3年目）教員に対する研修を実施している。研修においては、拠点5学校との双方向遠隔授業システムを構築し、県内指導主事と大学教員が若手教員が行う授業の様子をリアルタイムで視聴して必要な指導・助言を行っており、これら双方のやり取りを成果として録画蓄積し、全県の拠点校以外の若手教員にも発信・共有できるシステムを稼働している。